

ブッポウソウとオオコノハズク ー中型樹洞繁殖性鳥類の繁殖生態ー

飯田知彦 広島クマタカ生態研究会

ブッポウソウとオオコノハズクは、共に全長約 30cm の中型鳥類で、共に減少傾向にあるとされる種類である。特にブッポウソウは環境省のレッドリストで絶滅危惧 II 類 (VU)ー絶滅の危険が増大している種ーに属し、そのランクはアホウドリやオオワシ、タンチョウなどと同じであるにもかかわらず、その危険があまり認識されていないためか、その生態には依然解明されていない点が多い。

今回、そのブッポウソウとオオコノハズクの保護のための基礎研究として、従来から行っていたブッポウソウの保護増殖のために架設した巣箱に小型カメラを設置し、その繁殖生態についての解明を行った。同時に、ブッポウソウ用に架設した巣箱に入り繁殖するオオコノハズクについても、繁殖生態の解明を行った。詳細な調査結果については、今後時間をかけて解析を行うが、ブッポウソウのヒナの特異な行動など以外にも、樹洞をねらう他の鳥類との関係、ヒナをねらうカラスの襲撃など、いろいろ興味深い結果が得られているため、それらを含め速報的に報告する。